履　歴　書

氏名（ふりがな） 熊本　太郎（くまもと　たろう）

生年月日 1975年１月11日

自宅住所 〒8XX-0XXX　○○県○○市○○町1-23-4-567

 TEL/FAX：0XX-123-4567

勤務先・役職 ○○大学○○部○○学科・准教授

　 ○○大学○○部○○学科　○○学専攻　○○学講座

 〒8XX-0XXX　○○県○○市○○町8-9

 TEL：0XX-321-4567　　FAX：0XX-321-1234

 E-mail　tkuma@xyz.abc.ne.jp

学　　位 ○○博士（2002年３月　○○大学）

所属学会 日本○○学会（15年間、平成28年より評議員)、

 日本△△学会（12年間、平成30年より理事）

 日本□□学会（10年間）

学　　歴 1993年３月31日 ○○高等学校　卒業

 1993年４月１日 ○○大学○○学部　入学

 1997年３月25日 同　卒業

 1997年４月１日 ○○大学大学院○○研究科修士課程　入学

 （○○学専攻）

 1999年３月24日 同　修了（○○修士）

 1999年４月１日 ○○大学大学院○○研究科博士課程　入学

 （○○学専攻）

 2002年３月24日 同　修了（○○博士）

職　　歴 2002年４月１日 ○○大学○○学部・博士研究員

　　　　　　　　　 2005年７月１日 ○○大学○○学部・助教

 2012年４月１日 ○○大学○○学部・講師

 2014年７月16日 ○○大学○○学部・准教授

 現在に至る

教育活動　　　　　 2012年度〜2022年度　医療情報学、基礎情報処理

 2014年度〜2022年度　物理化学

 2018年度〜2022年度　医薬総合演習

賞　　罰 2010年12月３日 第10回日本xx学会賞受賞

免　　許 1997年４月10日 薬剤師免許（登録第11111号）

業　績　目　録

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　熊本　太郎

注：著者名は原則として全員を記すこと。ただし著者数が多数（10人以上）にわたる場合は、最初の著者を３名記入し以下を省略のこと（省略する場合、その員数と、掲載されている応募者の順番を○番目と記入）。なお、応募者には下線を付し、論文のcorresponding author（責任著者）には＊を記すこと。投稿中論文は記載しないこと。印刷中論文については、正式な採択通知書のコピーを提出できる場合に限って記載が認められる。英文原著論文については、Journal Citation Reports (JCR)に基づく当該論文掲載誌の最新のimpact factor (IF)を記すこと。また、研究領域（JCRのCategories）別のIFランキング（総説誌を除く）において当該論文掲載誌が上位10%または上位40%にあるものについてはその旨を付記すること。

Ⅰ．原著論文

 1. Kumamoto T\*., Honjo E., Oe Y., Kuhonji T., Kurokami T.

 Endothelin activates the ..... in vascular smooth muscle.

 Nature 405, 586-589 (2000) [IF 69.504；上位10%]

 2. Honjo E.\*, Kumamoto T, Oe Y., et al.（15人中２番目）

 Regulation of Human B Cell ...

 Immunobiology 207, 9-13 (2001) [IF 3.152]

 3. Oe Y., Honjo E., Kuhonji T, Kumamoto T., Kurokami T\*.

 Cell-matrix interaction via CD44 is ….. PKC activation.

 J. Biol. Chem., in press. [IF 5.485；上位40%]

Ⅱ．英文原著論文のまとめ

注：記入例に従い、ピアレビューによる査読システムを経て発表された英文原著論文について、総論文数、主要著者（第１著者、第２著者、最終著者あるいは責任著者）となっている論文数、最近５年間（2018年以降）の論文数、掲載誌がIFランキング上位10%にある論文数、掲載誌がIFランキング上位40%（上位10%を含む）にある論文数を記載すること。印刷中の論文については、Ⅰ．原著論文に記載したものに限る。第１著者でかつ責任著者である場合や、最終著者でかつ責任著者である場合などは責任著者として扱い、重複して数えてはならない。

記入例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 総論文数 | 主要著者論文数 | 最近５年間の論文数 | IF上位10%学術誌掲載論文数 | IF上位40%学術誌掲載論文数 |
| 80 | 38 | 20 | 7 | 28 |

Ⅲ．総説

 1. Kumamoto T\*.

 Endothelin activates the ..... in vascular smooth muscle.

 Curr. Opin. Struct. Biol. 123, 456-789 (2005)

 2. Honjo E., Kumamoto T\*., Kurokami T.

 Regulation of Human B Cell ...

 FASEB J. 78, 9-10 (2008)

Ⅳ．著書

 1. 熊本　太郎

 医療情報学入門

 統計科学講座20, 456-489, ○○書店 (2020)

Ⅴ．招待講演

（注：国際学会や全国規模の学会に限定し、地方集談会を除いたものを記載のこと。）

 1. 熊本　太郎、本荘次郎

 サイトカイン受容体の動的構造解析

 第23回蛋白質工学会シンポジウム(2012)

 2. Kumamoto T.

 Regulation of Human B Cell ...

 Tenth International Conference on Human .... (2018)

Ⅵ．学会発表（最近５年間について記載のこと。）

　1.　熊本　太郎、本荘次郎

レセプター・リガンド相互作用のMDシミュレーション

第○○回○○生物物理学会　2022年７月18日（東京）

Ⅶ．研究費採択状況（代表者分・分担者分を別個に記載すること。）

注：過去に獲得した競争的研究資金について、文部科学省科学研究費、その他省庁研究補助金、財団等補助金別に、配分された直接経費の総額を記載のこと。間接経費の交付がある場合は（ ）内にその配分総額を記載すること。

研究代表者分

　文部科学省科学研究費

 　1. 平成22〜24年度　基盤研究(C) 3,700千円(1,110千円)

 ○○○に関する研究

　2.　平成26〜30年度　基盤研究(B) 15,000千円(4,500千円)

 ○○○に関する研究

　その他省庁研究補助金

 　1.　平成21〜24年度　厚生労働省科学研究費

 がん克服戦略研究事業　10,000千円(3,000千円)

 ヒトＢ細胞の......

　財団等補助金（受託研究・共同研究等を含む）

 　1.　平成22年度　〇〇財団研究助成　2,000千円

 　　 ○○○と△△△に関する研究

研究分担者分

　文部科学省科学研究費

 　1. 平成25〜28年度　基盤研究(B)　2,500千円(750千円)

 TGF-β......の分子機構に関する研究（研究代表者　黒髪太郎）

　２．平成27〜30年度　基盤研究(B)　2,000千円(600千円)

 高脂血症におけるTGF-β.....に関する研究（研究代表者　大江良子）

　その他省庁研究補助金

 　1.　平成21〜24年度　厚生労働省科学研究費

 がん克服戦略研究事業　3,000千円(900千円)

 ヒトＢ細胞の...... （研究代表者　黒髪太郎）

　財団等補助金（受託研究・共同研究等を含む）

 　1.　特になし

Ⅷ．競争的研究資金の獲得状況のまとめ

注：記入例に従い、直接経費の総獲得額、研究代表者としての直接経費獲得額、研究分担者としての直接経費獲得額、最近５年間（平成30 (2018)年度以降、内定を含む）の直接経費獲得額、研究代表者としての直接経費獲得額、研究分担者としての直接経費獲得額を記載すること。間接経費の交付がある場合は、（ ）内にその配分額を記載すること。

記入例

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 直接経費の総獲得額（間接経費） | 研究代表者としての直接経費獲得額（間接経費） | 研究分担者としての直接経費獲得額（間接経費） |
| 80,000千円（20,000千円） | 72,000千円（17,600千円） | 8,000千円（2,400千円） |
|  |  |  |
| 最近５年間の直接経費獲得額（間接経費） | 最近５年間の研究代表者としての直接経費獲得額（間接経費） | 最近５年間の研究分担者としての直接経費獲得額（間接経費） |
| 25,000千円（6,000千円） | 20,000千円（4,500千円） | 5,000千円（1,500千円） |

主 要 研 究 論 文 目 録

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　熊本　太郎

原則として原著論文が望ましいが、総説を含めることもできる。ただし合計20編以内に限定すること。このうち、原著論文を中心に、主要論文５編の別刷各１部を添付のこと。（コピー可）

注：直近の論文から過去に遡って記載すること。著者名は原則として全員を記すこと。ただし著者数が多数（10人以上）にわたる場合は、最初の著者を３名記入し以下を省略のこと（省略する場合、その員数と、掲載されている応募者の順番を○番目と記入）。なお、応募者には下線を付し、論文の責任著者には＊を記すこと。投稿中論文は記載しないこと。印刷中論文については、正式な採択通知書のコピーを提出できる場合に限って記載が認められる。

 1. Oe Y., Honjoe E., Kuhonji T, Kumamoto T., Kurokami T\*.

 Cell-matrix interaction via CD44 is ….. PKC activation.

 J. Biol. Chem., in press.

 2. Honjo E.\*, Kumamoto T, Oe Y., et al.（15人中2番目）

 Regulation of Human B Cell ...

 Immunobiology 207, 9-13 (2001)

 3. Kumamoto T\*., Honjo E., Oe Y., Kuhonji T., Kurokami T.

 Endothelin activates the ..... in vascular smooth muscle.

 Nature 405, 586-589 (2000)

研　究　業　績　の　概　要

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　熊本　太郎

現在までの業績をＡ４紙に１枚、1200字以内で記載すること。

研究・教育に対する抱負

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　熊本　太郎

当該分野応募に関して、現在お持ちの抱負をＡ４紙に１枚、1200字以内で記載すること。